

多治見砂防国道事務所では、関係機関の連携強化を目的に、平成18年度より管内の6市町村（多治見市、土岐市、中津川市、木曾郡南木曾町、大桑村、上松町）で順次合同防災訓練を実施しています。

今年度は、大雨による大規模土砂災害（同時多発する土石流等）を想定した図上ワークショップ形式で、中津川市、岐阜県及び国土交通省の各機関の対応を確認し、相互の連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上を目指しました。

- 【訓練日時】 令和4年6月28日(火) 13:30～16:30
- 【訓練会場】 中津川市中央公民館ホール
- 【参加者】 中津川市、恵那土木事務所、恵那県事務所
岐阜県防災課・砂防課、中部地方整備局
河川部、多治見砂防国道事務所 **約40名**
- 【視察者】 土岐市、東濃県事務所、多治見土木事務所



【ステージ1】
←大規模土砂災害発生時の対応を
各組織から発表

【ステージ2】
3班に分かれ、①孤立集落発生時の
対応、②二次災害のおそれのある土
石流の対応について、意見交換。



○開会のあいさつ○



中津川市長



多治見砂防国道
事務所長



会場全体の様子



恵那土木事務所
副所長

DIG型式訓練は、各
機関がどのタイミ
ングで何をするの
か理解できる実践
的な訓練だった。

○講評○

災害発生時には、お互い
に連携をとりながら防災
力を発揮して対応してい
くことをお願いしたい。



中部地方整備局
河川部 広域水管理官